



新潟県立看護大学看護研究交流センター

e-mail nirin@niigata-cn.ac.jp

TEL 025-526-2822

どこカレ通信

51号

2022. 12発行

【今回の話題】

1.「看護現場に活かすコース」が全て終了しました

2.「看護研究支援コース」の受講者が2023年度地域課題研究に複数挑戦します

3.どこカレに新しい動画教材を追加しました

1. 「看護現場に活かすコース」研修を終えて

9 / 3 在宅や福祉施設における感染対策

今回は、在宅や福祉施設など療養の場における感染管理に視点を置き、講師を感染管理分野と認知症看護分野の認定看護師に担当していただきました。現場の実例に沿った話題が盛り込まれ、写真も豊富に使われていました。身の回りにある材料を使い感染防護具を作る実技では、受講された方々の真剣に参加する様子が画面上からも伝わってきました。感染管理の基本を再確認する貴重な研修になりました。

10/29 退院支援に関わる看護職の看護実践能力向上を目指した院内教育の取り組み

少子高齢化による 2025 年問題や地域包括ケアシステムの構築に向け、看護職の退院支援調整能力の向上が求められていることから、その能力向上を目指す院内教育の取り組みを学ぶ機会として企画しました。組織やシステムが異なる講師 3 名の講義を通じて、『所属する施設の退院支援を、より現場に即したのものにするヒントが得られた。課題に取り組む必要性を再確認した。』というアンケートを多くいただきました。

11/12 研究成果を看護実践へ還元するー文献検索のポイント・読み方・活かし方ー

論文として公開されている看護研究の成果を、看護現場の課題解決に活用することを目的に企画しました。2 名の講師から、信頼できる文献、文献の種類、キーワード選定、検索の仕方、図書館の活用方法等についてわかりやすい説明がありました。『研究の目的で文献を利用していたが、日頃の看護の疑問を解決するために研究成果を活用する視点に気づかされた。文献検索が身近になった。』という感想が寄せられました。

2. 研修の受講お疲れ様でした。 そして 2023 年度地域課題研究への申請、ありがとうございます。

今年度の公開講座を複数回受講された 2 名の方が、研究申請への思いを吐いて下さいました。

Nさん 「地域課題研究に挑戦しようと思いながら公開講座を受講していました。自分自身にとって研究は本当に難しく苦手意識がありました。在宅看護 CNS としての役割でも研究は重要であり指導を受けたいと思っていたので、勇気を出して申し込みました」

Yさん 「疑問がいつも沢山ある私です。疑問は研究の出発点と聞き、成功例でも失敗例でも振り返りから、最初は真似からスタートでよし！の言葉が励みになりました。文献活用も学んだら、やってみようかなと思えてきました」

3. どこカレメイトの学習を支援するバーチャルカレッジのお知らせ

新しい教材を 5 本掲載しました。

自宅学習の一つとして、是非ログインして下さい。

※「看護現場に活かすコース」の公開講座
退院支援に関わる看護職の看護実践能力向上
を目指した院内教育の取り組みより 3 本

※「看護現場に活かすコース」の公開講座
研究成果を看護実践へ還元するー文献検索の
ポイント・読み方・活かし方ーより 2 本

★1 本ずつ視聴できます。

★視聴に要する時間は 15 分から 50 分弱です。

🌞🌞🌞 自宅から Zoom で簡単に参加でき、受講料もお手頃！研修参加をお待ちしています。👏👏👏